

ブラジル金融政策（2023年3月）

5会合連続の政策金利据え置き

2023年3月23日

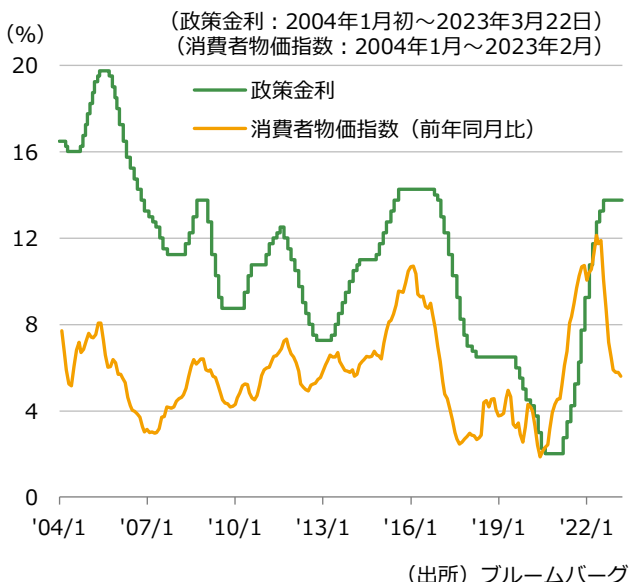
利下げ開始時期は新たな財政枠組みとインフレ目標変更の有無に依存

ブラジル中央銀行は3月22日（現地）、金融政策決定会合を開催し、市場予想通り政策金利を13.75%に据え置くことを決定しました。据え置きは5会合連続です。

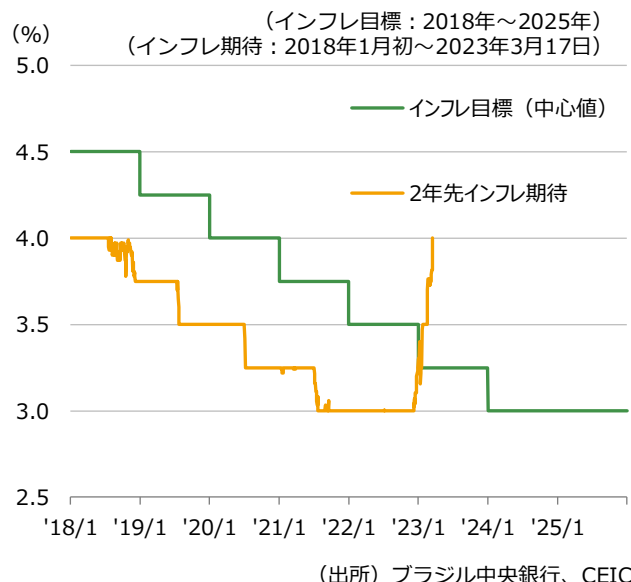
前回会合後もルラ大統領から高金利政策を批判する発言が続いていますが、ブラジル中銀は声明文で「デysinフレのプロセスが確固たるものとなり、一段と悪化（上昇）したインフレ期待がインフレ目標付近でしっかりと安定化するまで、政策金利を維持する」などと記し、早期の利下げ開始に否定的な姿勢を示しました。高金利が経済活動の重荷となり、実際のインフレ率は鈍化傾向が続いていますが【左図】、財政政策の不透明感やインフレ目標変更の思惑を背景に市場のインフレ期待は目標から乖離しており【右図】、これがブラジル中銀に利下げを躊躇させる一因になっています。

新たな財政枠組み案については近いうちに発表される可能性が高いほか、インフレ目標の変更については遅くとも6月のCMN（国家通貨審議会）で決定される見込みです。市場では今年11月の利下げ開始が予想されていますが、財政政策に関する不確実性が後退し、インフレ目標が引き上げられれば、利下げ開始が早まることも考えられるため、新たな財政枠組みとインフレ目標の行方に要注目です。またブラジル中銀は、欧米で高まっている金融システム不安によって世界経済が想定以上に減速すれば、ブラジルのインフレ率は見通しから下振れるとの見解を示しているため、こちらの動向も注視する必要があります。

ブラジル：政策金利と消費者物価指数



ブラジル：インフレ目標とインフレ期待



当資料のお取扱いにおけるご注意

- 当資料は投資判断の参考となる情報提供を目的として大和アセットマネジメント株式会社が作成したものであり、勧誘を目的としたものではありません。投資信託のお申込みにあたっては、販売会社よりお渡しする「投資信託説明書(交付目論見書)」の内容を必ずご確認ください。
- 当資料は信頼できると考えられる情報源から作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。運用実績などの記載内容は過去の実績であり、将来の成果を示唆・保証するものではありません。記載内容は資料作成時点のものであり、予告なく変更されることがあります。また、記載する指数・統計資料等の知的所有権、その他一切の権利はその発行者および許諾者に帰属します。
- 当資料の中で個別企業名が記載されている場合、それらはあくまでも参考のために掲載したものであり、各企業の推奨を目的とするものではありません。また、ファンドに今後組み入れることを、示唆・保証するものではありません。

大和アセットマネジメント

Daiwa Asset Management